

2014年6月25日
 発行/日本共産党市議団地域版
 自宅/市川市菅野2-14-14-206
 Tel/fax 047-323-3640
 携帯 090-6310-3294
 shimizu@jcp-ichikawa.com
 ブログが新しくなりました
<http://jcp-shimizu.sblo.jp>

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No. 7 3



公民館等の値上げ反対署名 8764筆を提出「継続審議」に

6月市議会
 一般質問



5月30日、請願の切日に「値上げを許さない市川市民の会」メンバーが議会事務局に署名を提出。委員会開催の10日まで署名を追加し8764筆になりました。

8700を超える署名の重みを市はしっかりと受け止めてほしいと要望し、声を届けました。「お年寄りの出かけていく場所がなくなる。地域のコミュニティが崩壊する」「値上げされたらサー

公民館などの
 使用料について

クル活動を閉じなければならぬ」「なぜ公民館と民間の施設使用料を比較するのか」「利用者から集めたお金で回収するのはおかしい。私たちは税金を払っているのだから」など。

6月6日から23日まで6月定例市議会が開かれました。条例では、子ども子育て新制度に関する議案2本に反対しました。6月18日、一般質問では「公民館等使用料の見直し」「子ども子育て新制度」「須和田のマンホール内事故」「北総線運賃」で質問しました。

を集めたことも話しました。市の担当者らは「4倍が独り歩きしている」と言いまして、市政戦略会議の答申では、

繰り返して4倍にすると約1億2千万程度の増収になると試算し、すすめるべきだと強調しています。私たちはまったく納得できないものではありません。値上げ計画の撤回を強く要求しました。

6月20日、会派みらいの田中議員の質問に対して、大久保市長が答弁に立ちました。「施設の値上げに反対があるのは承知しているが、受益者負担と民営化については、本格的にすすめていく考えだ。たとえ支持率が落ちてもやっつけていく。目先のことで判断するのではない。」

「負けられません。9月議会に向けて、引き続き署名に取り組みします。」

公民館など値上げを許さない請願署名 8700筆を超える

9月議会へむけて引き続き署名に取り組みます

6月市議会・傍聴人が見守るなか「継続審議」

採択	継続	不採択
●市民生活センター利用料 100円増	●市民生活センター利用料 100円増	●市民生活センター利用料 100円増
●公民館利用料 50円増	●公民館利用料 50円増	●公民館利用料 50円増
●児童館利用料 30円増	●児童館利用料 30円増	●児童館利用料 30円増
●青少年センター利用料 100円増	●青少年センター利用料 100円増	●青少年センター利用料 100円増

【施設の統廃合や民営化をめざす一市政戦略会議】

【推薦者】
 須和田 隆雄

【推薦者】
 須和田 隆雄

【推薦者】
 須和田 隆雄

新しいチラシができました。活用しましょう。

6月議会の一般質問

子ども・子育て新制度の問題点

国の指針がまだ示されていないなかで、市町村には実務を押しつけるやり方は許せないことをまず批判をして、多くの自治体で9月議会で条例を出してくるというなかで、市川市では6月に出してきたことは拙速ではないかと、条例制定に反対をしました。

そして、問題点を指摘しながら質問しました。

- ☆保育の必要性の認定については、かならず「認定」をうけなければなりません。保護者の労働時間によって、11時間の「標準時間」と8時間の「短時間」とに区分され、預ける時間が決まり、それ以上になると料金を追加されることとなります。
- ☆保育所以外は保護者と事業者の直接契約になること。保育所、幼稚園以外にも、認定子ども園、

小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、居宅訪問型と様々な施設ができます。施設によって、基準もバラバラで、保育サービズに差がでています。

- ☆保育料について、まだ確定していません。ただ、上乗せ徴収や実費徴収もあります。これまでの保育料よりは保護者負担が重くなります。
- ☆その他、保育士の資格を緩和しています。19人以下の小規模保育の場合、A型は全員保育士、B型は半数以上、C型は研修

を受けた者となります。この間、認可外保育所では死亡事故も起きていくことから、保育の質をしっかりと確保していくように求めました。

市の発注工事で死亡事故が発生

須和田1丁目のマンホール内で事故が起きました。5月28日午前11時頃、排水作業をしていた下請け作業員が一酸化炭素中毒で搬送。労働安全法でも禁止されている行為をしていたということですが、事故原因の究明と請負業者だけでなく、下請け業者にも安全対策をとるよう指摘しました。

北総線運賃の値下げ問題

平成22年から県と北総線沿線6市で5年間補助金を出し運賃を引き下げしてきました。市は年間450万円負担。北総鉄道は黒字決算ということで、県が耐震補工事名目で補助金を出し、引き続き運賃を引き下げることになりました。

安倍首相の集団的自衛権行使の暴走にストップを



6月15日、西部地域後援会のメンバーと、国分ライフ前を皮切りに、中国分、北国分と5箇所で行った。

「海外で戦争する国づくり」「若者を戦争に駆り立てる自公政権」にきっぱりと批判し、集団的自衛権の行使にやっきになって暴走する安倍政権にストップをかけましょうと、訴え。私は6月市議会報告、とくに公民館など公共施設の値上げしようとする市政を批判しました。ライフ前では、「がんばって」「私が訴えたいくらいだよ」と年配の女性が声をかけてきました。

《主な活動報告 5～6月》

☆5月31日 革新懇市川の5月集会

今年の5月集会は、市内在住で東邦大学教授の長(ちょう)さんから、「集団的自衛権と歴史問題」と題して、たいへんわかりやすい講演がありました。その後、高橋勲弁護士を司会者として、参加者との討論集会として深めていきました。

☆6月7日 松川事件の映画会と善明さんのお話

国民救援会市川支部主催で映画「松川事件」上映会と当時の弁護士・松本善明さんをお招きして話を聞きました。88歳の年齢を感じさせないお話でした。120人が参加。お話はわかりやすかったです。



☆6月20日 春木川の洪水対策説明会

県の施設・真間川改修事務所が主催して、春木川の洪水対策に関する住民説明会が開かれました。

昨年10月の台風で国分川、春木川があふれ被害を受けました。調節池の掘削が終わり、国分川があふれたら上池と中池で対応し、春木川があふれたら下池で対応することになるという説明でした。市の水害対策が遅れているという批判の声がありました。

☆6月22日 中央社保協の学習会

国民健康保険の都道府県単位化に関する全国学習集会がひらかれ、全国から100人以上が参加しました。全国知事会も市長会も反対している単位化。国民皆保険制度を国の責任としてすすめることが重要であること。27年度以降、国保運営を都道府県が担い、市町村との役割を検討しているというものです。